

平成28年度

文部科学白書  
(概要)

平成29年7月

文 部 科 学 省

# 文部科学省における再就職等問題に係る対応について

文部科学省職員が国家公務員法に定める再就職等規制に違反した事案について、事案の経緯、平成29年3月30日に公表した「文部科学省における再就職等問題に係る調査報告(最終まとめ)」の内容、再発防止に向けた取組等について記述

## 第1部 巻頭写真 リオデジャネイロの軌跡

2016(平成28)年に開催されたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会における日本人選手の活躍、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた機運の醸成、アンチ・ドーピング体制の推進について多数の写真とともに紹介

### 第1節 リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックにおける日本人選手の活躍

#### 第31回オリンピック競技大会での日本人選手の活躍

○ 第31回オリンピック競技大会の写真を多数掲載



柔道男子90kg級  
ベイカー茉秋選手



バドミントン女子ダブルス  
高橋礼華選手, 松友美佐紀選手



シンクロナイズドスイミング  
日本代表チーム



体操男子団体  
日本代表チーム

#### リオ2016パラリンピック競技大会における日本人選手の活躍

○ リオ2016パラリンピック競技大会の写真を多数掲載



車椅子テニス男子ダブルス  
国枝慎吾選手, 齋田悟司選手



陸上男子走り幅跳び  
山本篤選手



女子マラソン(視覚障害)  
道下美里選手



ボッチャ  
チーム(脳性まひ)の選手

#### 日本人選手を支えた各施設

##### ◇ハイパフォーマンスサポート・センター

・競技直前の準備のために必要となるサポートを選手、コーチなどへ提供する拠点を設置。(右写真)

##### ◇ナショナルトレーニングセンター

・我が国のトップアスリートが同一の活動拠点で集中的・継続的な強化活動を行うための拠点。

##### ◇国立スポーツ科学センター

・平成13年に我が国の国際競技力向上のため、スポーツ医・科学研究推進の中核機関として設置。



## 第2節 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会へ向けた機運の醸成

### リオデジャネイロにおける広報

- オリンピック・パラリンピックの開催期間中、リオデジャネイロに「Tokyo 2020 JAPAN HOUSE」を設置。



### リオオリンピック・パラリンピック日本代表選手団合同パレード

- オリンピック・パラリンピック選手団合同の凱旋パレードは初。
- 銀座8丁目から日本橋室町3丁目まで2.5kmのコースに80万人の観衆。



### スポーツ・文化・ワールド・フォーラムの開催

- 2016(平成28年)10月19日から10月22日にかけて開催。
- ラグビーワールドカップ2019, 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会, 関西ワールドマスターズゲームズ2021等に向けた国際的な機運の醸成。
- スポーツ大臣会合を開催し, 35か国の大臣を含めた69か国の代表が出席。



### 文化プログラムの推進

- 「スポーツ・文化・ワールド・フォーラム」を皮切りに, 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会や関係省庁と連携し認証制度の普及に取り組むとともに, 様々な文化プログラムを実施。

- 東京2020文化オリンピックアード  
(例) 神社・仏閣・能楽堂を活用した実演芸術拠点形成プロジェクト(写真左)



- 日本遺産  
(例) 丹波篠山デカンショ節—民謡に載せて歌い継ぐふるさとの記憶—【篠山市】(写真右)



### ホストタウンの推進

- 2020年大会により多くの選手・観客等が来訪することを契機に, 大会参加国・地域との人的・経済的・文化的な相互交流を図る地方公共団体「ホストタウン」を全国に広げる取組みを推進。
- 平成28年12月9日 第3次登録団体 138組を公表。  
右写真は, 千葉県山武市とスリランカとの交流。



## 第3節 アンチ・ドーピング体制の推進について

### ドーピング防止活動の課題と対応方策

①ドーピングを企てる側と取り締まる側が「いたちごっこ」の状況, ②医師や薬剤師等, 医療従事者への啓発, ③巧妙化・高度化するドーピングに対応する新たな検査手法等の開発, ④組織的ドーピングへの対応のほか, ドーピングに関する情報を関係機関において共有できる仕組みの構築, ラグビーワールドカップ2019の各会場におけるドーピング検査室の適切な整備, 2020年東京大会における検査と分析にかかわる人材の確保などが課題。

⇒文部科学省では平成27年12月に「アンチ・ドーピング体制の構築・強化に向けたタスクフォース」を設置。平成28年11月に報告書を取りまとめ、上記の課題に対する取組を推進。

# 特集 子供たちの未来を育む豊かな体験活動の充実

文部科学省における、体験活動を推進する様々な取組について紹介。  
体験活動の意義と効果に加え、生活・文化体験活動、自然体験活動、社会体験活動の3分野についての具体的な取組、体験活動推進の今後の方向性などを紹介。

## 第1節 子供たちの体験活動の意義や現状

### 体験活動のあらまし

- 体験活動とは、「体験を通じて何らかの学習が行われることを目的として、体験する者に対して意図的・計画的に提供される体験」(平成19年1月30日中央教育審議会答申「次代を担う自立した青少年の育成に向けて」)であり、三つの分野に分類される。
  - 生活・文化体験活動 ⇒ 遊び、お手伝い、スポーツ、部活動、地域行事 など
  - 自然体験活動 ⇒ 登山、キャンプ、星空観察、動植物観察 など
  - 社会体験活動 ⇒ ボランティア活動、職場体験活動、インターンシップ など

### 子供たちの体験活動に関する実態調査

- 自然体験・生活体験などの体験が豊富な子供、生活習慣が身につけている子供は自己肯定感、道徳観・正義感が高い傾向。
- 子供の頃の自然体験、お手伝い、友達との遊び、地域での活動などの体験が豊富な人は、大人になってからの人間関係能力、自尊感情、意欲・関心などの資質・能力が高い傾向。
- 子供の頃の体験が豊富な保護者の子供は体験が豊かな傾向。
- 保護者が子供のしつけをしっかりしているほど子供の自己肯定感、道徳観・正義感が高い傾向。
- 保護者が子供に積極的に体験の機会を与えていたり、子供に生活習慣を身につけさせることに力を入れているほど、子供のコミュニケーションスキルや礼儀・マナースキルが高い傾向。

## 第2節 青少年の体験活動を推進するための取組

### 体験活動の推進体制について

- 学校教育における体験活動の推進
- 地域と学校の連携・協働による放課後や土曜日等の学習・体験活動
- 家庭における体験活動

### 生活・文化体験活動

- 読書活動の推進  
⇒ 学校、地域での取組のほか、コラムではビブリオバトルについて紹介
- 子供のスポーツ機会の充実  
⇒ 学校では、平成29年4月から「部活動指導員」を導入し、部活動の指導体制を改善。地域では「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン」を29年3月に策定するなど、環境整備を実施。
- 子供たちの文化芸術体験活動の推進  
⇒ 文化庁により、「文化芸術による子供の育成事業」、「伝統文化親子教室事業」、「全国高等学校総合文化祭」などの事業を実施。



大阪府中高生ビブリオバトル大会



放課後子供教室における枝豆収穫の体験活動



部活動指導員による剣道の指導

## 自然体験活動

- 「健全育成のための体験活動推進事業」などにより、学校による宿泊体験活動の取組等の支援。
- 地域では、「体験活動推進プロジェクト」の実施、「子供と自然をつなぐ地域プラットフォーム」を形成する取組の支援を通し、体験活動を推進。
- 国立青少年教育振興機構は、全国28の国立青少年教育施設において総合的な体験活動の機会を提供。「早寝早起き朝ごはん」国民運動、「体験の風をおこそう」運動を推進するほか、「子供の貧困対策に関する大綱」に基づき、経済的に困難な状況にある子供を対象とした事業を実施。



兵庫県「自然学校」の様子



「体験の風をおこそう」運動  
「キッズフェスタ」ツリークライミング



国立青少年教育振興機構実施事業  
ジュニアチャレンジ淡路島一周

## 社会体験活動

- 学校現場における職場体験、インターンシップの普及、促進を実施。
- 国立青少年教育振興機構は、「ミクロネシア諸島自然体験交流事業」を実施。



大阪府立堺工科高等学校<定時制課程>  
就業体験を行った高校生が、小学生の就業体験を  
サポートするプログラム「ゆめ・チャレ」



ミクロネシア諸島自然体験交流事業  
(パラオ共和国)

## 第3節 今後に向けて

### 青少年の体験活動の推進方策に関する検討委員会

- 平成28年9月に「青少年の体験活動の推進方策に関する検討委員会」を開催。これまでの青少年の体験活動に関する取組の検証や現状の整理、これからの体験活動の推進方策について検討し、同年11月に議論について取りまとめ。

### 「青少年の体験活動の推進方策に関する検討委員会」における論点のまとめ

- 今後の青少年の体験活動の推進方策について
  - 長期宿泊型の体験活動、困難な状況にある青少年を対象にした体験活動、地域の課題解決に関わる体験活動、身近な場所における体験活動など、体験活動の機会を充実させることが必要。
  - ボランティア等に参画しやすい環境づくり、コーディネート人材、体験活動のニーズや参画したい人の情報を集約するなどの体制整備が必要。
  - 体験活動の内容を自ら提案するなどの主体的な体験活動、「生活・文化活動」「自然体験活動」「社会体験活動」を複合した体験活動などを行うためのネットワークづくりが必要。

# 第2部

## 文教・科学技術施策の動向と展開

文教・科学技術施策の年次報告として、主な内容を分野ごとに記述

### 第1章 教育再生の着実な推進

- 第1節 教育政策をめぐる動き
- 第2節 教育振興基本計画に基づく教育施策の推進
- 第3節 教育施策の総合的推進のための調査研究

### 第2章 東日本大震災からの復興・創生の進展

- 第1節 創造的復興を実現する人材の育成
- 第2節 絆づくりと活力あるコミュニティ形成
- 第3節 学びのセーフティーネット
- 第4節 震災後の社会を生き抜く力の養成
- 第5節 原子力発電所事故への対応

### 第3章 生涯学習社会の実現

- 第1節 国民一人一人の生涯を通じた学習の支援
- 第2節 現代的・社会的な課題に対応した学習等の推進
- 第3節 社会教育の振興と社会全体で子供を育む環境づくり
- 第4節 家庭教育支援の推進と青少年の健やかな成長

### 第4章 初等中等教育の充実

- 第1節 学習指導要領が目指す教育の実現
- 第2節 科学技術系人材を育成するための理数教育の推進
- 第3節 グローバル人材の育成に向けた教育の充実
- 第4節 キャリア教育・職業教育の推進
- 第5節 新しい時代にふさわしい教育制度の柔軟化の推進
- 第6節 高等学校教育改革の推進
- 第7節 教科書の充実
- 第8節 いじめ・不登校等の生徒指導上の諸課題への対応
- 第9節 道德教育の充実
- 第10節 人権教育の推進
- 第11節 子供の健康と安全
- 第12節 きめ細かで質の高い教育に対応するための教職員等の指導體制の整備
- 第13節 生涯にわたる人格形成の基礎を培う幼児教育の振興
- 第14節 障害のある子供一人一人のニーズに応じた特別支援教育の推進
- 第15節 地方教育行政の在り方と地域とともにある学校づくり
- 第16節 少子化に対応した活力ある学校づくりの推進
- 第17節 幼児・児童・生徒に対する経済的支援の充実

### 第5章 高等教育の充実

- 第1節 高等教育施策の動向
- 第2節 高等教育の更なる発展に向けて
- 第3節 グローバル人材育成と大学の国際化
- 第4節 専門人材の育成
- 第5節 学生に対する経済的支援の充実と社会的・職業的自立に対する支援

### 第6章 私立学校の振興

- 第1節 私立学校に対する助成
- 第2節 私立学校振興方策の充実

### 第7章 科学技術・学術政策の総合的推進

- 第1節 科学技術・学術政策の展開
- 第2節 未来の産業創造と社会変革に向けた新たな価値創出の取組
- 第3節 経済・社会的課題への対応
- 第4節 科学技術イノベーションの基盤的な力の強化
- 第5節 イノベーション創出に向けた人材、知、資金の好循環システムの構築

第6節 科学技術イノベーションと社会との関係深化

第7節 科学技術イノベーションの推進機能の強化

## 第8章 スポーツ立国の実現

第1節 第2期スポーツ基本計画とスポーツ振興財源

第2節 スポーツを通じた健康増進

第3節 子供のスポーツ機会の充実

第4節 障害者スポーツの振興

第5節 国際競技力向上に向けた人材の養成やスポーツ環境の整備等

第6節 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

第7節 スポーツを通じた国際交流・協力

第8節 スポーツを通じた地域活性化

第9節 スポーツの成長産業化, スポーツ団体の基盤強化

第10節 大学スポーツの振興

## 第9章 文化芸術立国の実現

第1節 文化芸術政策の総合的推進

第2節 文化芸術創造活動の推進

第3節 映画・メディア芸術の振興

第4節 あらゆる人々の文化芸術活動と地域における文化芸術の振興

第5節 文化財の保存と活用

第6節 美術館・歴史博物館・劇場等の振興

第7節 国際文化交流を通じた日本文化の発信と国際協力への取組

第8節 社会の変化に対応した国語施策の推進

第9節 外国人に対する日本語教育施策の推進

第10節 新しい時代に対応した著作権施策の展開

第11節 宗教法人制度と宗務行政

第12節 アイヌ文化の振興

## 第10章 国際交流・協力の充実

第1節 教育・スポーツ・文化分野における国際交流・協力

第2節 科学技術外交の推進

第3節 ユネスコ(国際連合教育科学文化機関)事業への参加・協力

## 第11章 ICTの活用の推進

第1節 教育の情報化

第2節 映像作品やICTを活用した教材の普及・奨励

第3節 ICTを活用した情報発信

## 第12章 安全で質の高い学校施設の整備

第1節 安全・安心な学校施設の整備

第2節 快適で豊かな施設環境の構築

第3節 未来を拓く教育研究基盤の形成

## 第13章 防災・減災対策の充実

第1節 防災・減災対策の充実

第2節 「平成28年(2016年)熊本地震」への対応

## 第14章 行政改革・政策評価等の推進

第1節 行政改革の推進

第2節 政策評価の実施

第3節 独立行政法人の評価